奄美市立小宿中学校　学校便り　　令和４年度第５号　令和４年８月19日

根山麓

【校訓】
学愛磨
向友錬

【キャッチフレーズ】
こう学に燃え意欲を持ち
しゅう中して物事に挑み
くりーんアップに取り組む
小宿中

子どもの成長のために

校長　前泊　勝利

夏休みも残り１０日余りとなりましたが，有意義な家庭生活が送れたでしょうか。夏休みは学校便り７月号でも記載しましたが，長期休業でないとできない体験ができたり，子どもの長所を伸ばしたりすることができる期間です。まだの場合は，楽器が好きな子はその練習をしたり，絵を描くことが好きな子は描いたり，物を作ることが好きな子は作ったり，生物が好きな子は観察したりと今からでも取り組んでほしいものです。学習については２学期以降も大事な家庭学習習慣として自分のものにしていくことが大事ですので，決まった時間に一定の時間するなど取り組ませてください。

また，この時期は生命に関わる事故や様々な危険・誘惑も多く見られます。「自分や他の人の生命に関わること」や「決してしてはいけないこと」などについては，厳しく戒め，自律ある生活が望まれます。自由にできる時間が多いことから，ユーチューブやゲームでスマートフォンの使用やゲーム機の使用が多くなりがちですので，子どもの成長のためにあらためて次のことに留意してください。

○　ゲームやインターネット等の利用ルールを
　ゲームやインターネット等にのめり込み過ぎないようにルールをつくり，それを守る習慣をつけることが大事です。例えば，フィルタリングは必ず設定する，寝るとき部屋に持ち込まない，夜９時以降は使わないなどの使用場所や使用時間，使ってよい目的などについてルールを家庭で決めてください。
※『９時だよ！電源終了』の推進

○　情報モラル指導を
　ウェブやメールなどのインターネットによるコミュニケーションでは，顔の見えない相手とのやり取りになるため，ちょっとしたことが原因でトラブルに発展してしまうことがあります。また，個人が特定されるような書き込みで誹謗（ひぼう）中傷を受けたり，悪口が書かれたメールが送られたりする「ネットいじめ」などの例もあります。特に顔の見えない者同士のやり取りには危険がともなうことがあったり，そのつもりはなくても相手を傷つけてしまうおそれがあったりなど，日頃から子どもに教えることが大切です。

○　自然体験活動を
　ゲームやインターネット等にばかりのめり込むと，屋内に閉じこもる，人や自然とふれあう体験が不足する，人間関係をつくる力や他人を思いやる心が育たなくなる，生や死の現実感覚が薄くなる，仮想と現実の区別がつかなくなるなど，子どもの健全な心の成長に影を落とすこともあります。

２学期には体育大会や学習発表会などの大きな行事が控えています。新学期にスムーズに入り，思い出に残る学校生活にするためには夏休みの残りの期間の家庭での過ごし方が大事になってきます。リズムのある生活への支援をよろしくお願いします。

９月１１日（日）に体育大会を予定しています。参観していただくとともに激励をお願いします。

9/21～30は秋の全国交通安全運動期間です